

# マリレジャー安全レポート

第28号(平成19年11月)

第七管区海上保安本部  
マリレジャー安全推進室  
TEL 093-321-2931  
E-mail:kyuunan-7@kaiho.mlit.go.jp



平成19年10月  
プレジャーボート等  
海難発生隻数

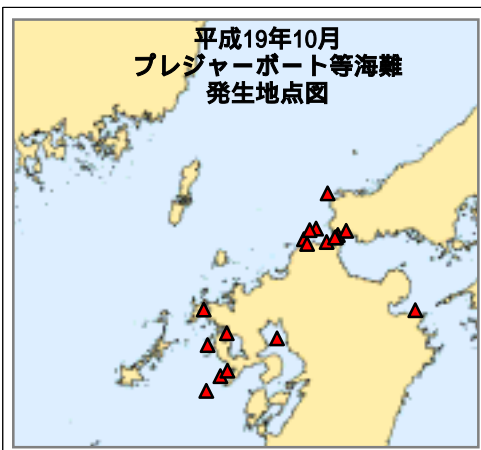
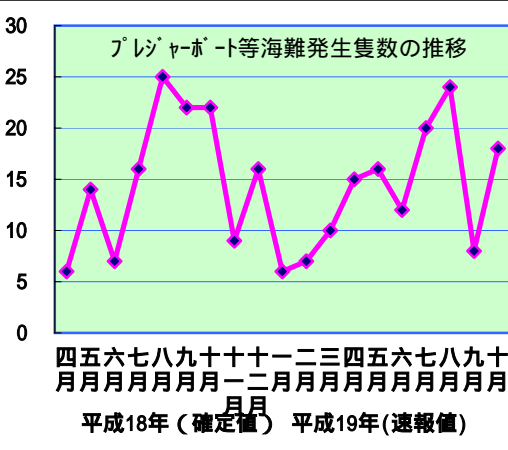
合計	18隻
衝突	2
乗揚	2
転覆	0
浸水	0
推進器障害	3
舵障害	0
機関故障	5
火災	1
爆発	0
行方不明	0
運航阻害	4
安全阻害	0
その他	1

## 飲酒酩酊は危険です！

長崎県伊王島西方で10月26日1200頃、73歳の男性が一人で遊漁中、五合入り焼酎を飲み始め、半分飲んだところで寝入ってしまい、無意識のうちに実妹に電話しましたが、話す内容が不明なため、心配した実妹が男性の妻に電話、男性は妻からの電話で一旦目を覚ましましたが、船はすでに陸岸に接近しており、何も出来ずに野々串漁港付近の岩場に乗り上げたもので、男性は海につかりながらも自力で陸まで這い上がっています。



～事故からの教訓～  
飲酒などの影響により、注意力や判断力等が著しく低下しているなど、正常な操縦が出来ないおそれがある状態で、操縦することは非常に危険です。今回のような飲酒酩酊は、他の船舶に及ぼす危険も大きく、衝突、転覆の危険性もありました。小型船舶の場合でも自動車と同様に酒酔い等の操船は法律で禁止されています。危険のない安全な遊漁に努めましょう。



## 小型船舶の機関取扱い～シリーズ

機関の故障や整備不良による海難が急増！

Q9 エンジンの中は水洗いしなくて大丈夫？



エンジン内部の水洗いをしないと、冷却水路に塩・カルシウム等の汚れが堆積し、冷却水路の腐食やオーバーヒートにつながります。

特に4ストロークエンジンは、2ストロークエンジンに比べエンジン温度が高く、冷却水通路も長く狭い構造となっていることから、汚れが堆積しやすくなります。

水洗キットなどを使って、定期的に真水で洗浄をしてください。

洗浄方法についてはエンジンの取扱説明書をご覧ください。

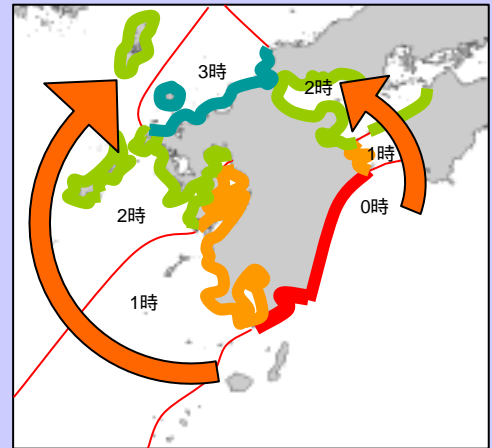
## 関門海峡と潮流のしくみ

一般的な港や湾の潮の流れは、干潮時から海面が上昇してくるにつれて流速が早くなり、満潮と干潮の間(平均水面)あたりで最速に達します。満潮になるころには徐々に遅くなり最後には潮がとまり、そして反転します。

関門海峡では9ノットを越える潮流が発生しますが、関門海峡や国内で潮流が最も速く、渦潮で名高い鳴門海峡ではこれとは違った仕組みで強い流れが発生します。

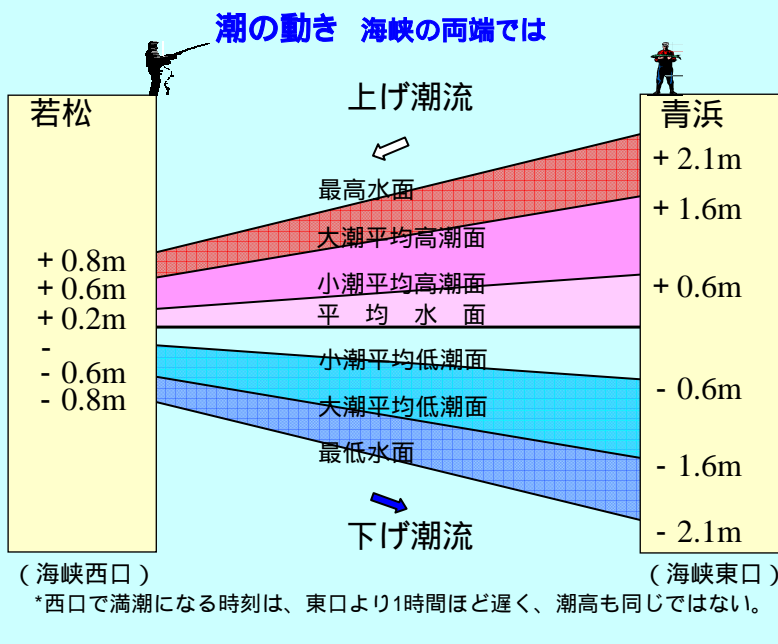
関門海峡の潮流は、海峡の東口と西口の水面の高低差によって起こります。

東口の干満は、太平洋を西へと進んできた潮浪(潮汐波)が豊後水道を通過して瀬戸内海へ入り、その一部が周防灘を通過して東口に達したときに起こります。一方、西口の干満は、太平洋を西へと進んできた潮浪が九州南方を通過して九州の西側を北上し、対馬海峡を通過して西口に達したとき起こります。



鳴門海峡も同様に紀伊水道から北上して直接達する潮浪と大阪湾、明石海峡を経て南下する潮浪により干満が起こります。鳴門海峡ではこの時間差が約5時間あるため、一方が満潮のとき他方が干潮となるため海面に高低差が起きます。

関門海峡では、この差が1時間しかありませんが、海峡の両端に(東口と西口)の海面に着目すると、図にあるとおり、海峡の東口と西口では、干満(振幅の大きさ)に差があるため、満潮時になっても潮がとまらず、流れ続けます。



このように「海峡」が港となっている関門港では、「一般的な」港や湾とは違った特徴的な動きがあります。

ときどき受ける相談で、上げ潮・下げ潮に関するものがあります。よく使われる用語なのですが、話される人によって意味が違ったりします。一般的に上げ潮・下げ潮とは、干潮から満潮まで海面がだいに上昇してしる間のことを上げ潮といい、下げ潮はその逆で、下降してしる間のことをいいます。一方、上げ潮中に流速が最強となる方向の潮流を「上げ潮流」、下げ潮中のものを「下げ潮流」といいますが、これらのものを「上げ潮」、「下げ潮」といわれる方もいます。